

14歳・僕の挑戦

「水海道～秋田 野宿の自転車一人旅」



期間 2008年8月10日 ～ 8月15日

5泊6日

自転車走行距離 507.6km

山野井 淳仁 14歳

写真・文 山野井淳仁

はじめに

僕は小学校 4 年生から 6 年生までの 3 年間、両親から離れ、見ず知らずの町で山村留学生として、秋田県合川町（現北秋田市）でホームステイをしながら小学校に通った。

立志を迎える 14 歳の夏休み、成長した自分を試すため、また、お世話になった家族や友人に会うために、秋田まで自転車一人で行こうと決心し計画を立て実行した。

計画に際しては次の事を重点に考えた。

- 1) 安全を最優先に考える。
- 2) 自分自身の力で進む。
- 3) 毎日必ず温泉に入る。
- 4) 宿泊は安全で、迷惑のかからない所で野宿する。
- 5) 責任を持った行動をする。

福島県会津地区の山越えは、トンネルと急勾配のため危険であると判断し、自転車を折りたたみ、電車にて移動する事にした。また、宿泊は、道の駅や公園などにテントを張って野宿をする事にした。夏なので衛生面を考え自炊はせず食事はすべて弁当を買う事にした。

走行準備編

6月28日 晴れ

ルート

自宅 7:00 発 → 布施弁天 → 牛久河童の碑
→ 牛久大仏 → 板橋不動尊 → 自宅 17:30 着

走行距離 96 km

夏休みの輪行に備えて、本番の1日走行予定距離の100kmを目標に、練習走行をした。

装備

自転車・ヘルメット・地図・お金 3000 円

走り終えて

暑い日だったので、すごく疲れた。初めて走る道ばかりなので10万分の1の地図では、細かい道路が書かれていなくて、実際走ると道に迷ってばかりいた。

本番でも縮尺が同じ地図なので、ルートは間違えにくいよう広い道路や、わかりやすい道路を計画しようと思った。

途中夕立にあった。雨具を準備していなかったなので、本番では必ず装備することにした。



野宿準備編

7月19日 晴れ

自宅の庭にてテント設営練習をした。本番を考えて夕方薄暗くなってから、懐中電灯の明かりでテントを張り、その中で寝た。風の無い蒸し暑い夜だったが、インナーだけでは不安だったので、フライシートも張って寝た。緊張でなかなか寝付けなかったけれども、虫の声を聞いているうちに、いつの間にか寝ていた。朝、起きてみると朝露でフライシートがびっしょりだった。フライシートを張っていてよかったと思った。地面のゴツゴツ感はグランドシートで何とかなるかと思うが、荷物を少なくしないと走行するとき走りにくそうなので、グランドシートは持っていくことができないと思う。

8月9日（土） 晴れ

いよいよ明日の早朝出発だ。荷物の再確認をする。

装備品



自転車
輪行袋
寝袋
テント
ヘルメット
懐中電灯
着替え
地図
携帯電話
カメラ

お金・パンク修理セット・替えチューブ・工具・カップ・
キャンプ用ナイフ・虫刺されの薬・カットバン・虫よけ・
洗面用具・シャンプー・せっけん・日記帳・外泊承諾書など

なるべく荷物を少なくするために最小限の持ち物にした。
荷台にはテントとカップ・寝袋を輪行袋に入れ落ちないように
固定した。他のものはリュックに入るだけの量にした。

1日目・8月10日(日) 晴れ 起床 4:30 出発 5:00

1日走行距離 104.4km・トータル距離 104.4km

使ったお金 2,665円

ルート

自宅→R294→R125 下妻交差点→R50 下館交差点→
R408→R4→宝積寺→元気アップ村(入浴)→宝積寺駅

宿泊場所 到着 17:15

宝積寺駅横の公園



日記

初日だったので、経験者の兄が1日だけ一緒に行ってくれた。兄は昨年、兵庫県の甲子園まで自転車で同じような

旅をしているので、いろいろと教えてもらった。

朝早く出発したので、昼には宿泊予定の場所に着いた。駅のベンチで2時間くらい昼寝をした。体が少し楽になった。お風呂まで片道10kmも離れていて、疲れていたので行きたくなかったが、がんばって行った。

夕食後駅の近くの公園にテントを張った。駅前の交番の警官がこっちを見ていたので、何か困ったことができて大丈夫だと思った。夜、貨物列車が何度も走っていて、その音と旅が始まった興奮でなかなか眠れなかった。

2日目・8月11日(月)晴れ 起床 4:30 出発 5:30

1日走行距離 35.3km ・ トータル距離 139.7km

使ったお金 7,546円 (電車賃 4,990円)

ルート (青字は電車利用部分)

宝積寺駅前公園→宝積寺駅→6:00JR 東北本線郡山行
→郡山・磐越西線新潟行→13:37新潟駅着→県道3号
→県道26号→新発田→あやめの湯(入浴)→道の駅
加治川(宿泊地)

宿泊場所 到着 17:15

道の駅 加治川 の駐車場横 芝生の上

日記



今日は新潟まで電車で移動した。山越えは、トンネルと急な坂で危険だからだ。約7時間電車に乗った。電車の中で知り合ったおじさんに、缶ジュースをご馳走になった。おじさんは僕が、秋田まで一人で旅をしていると知ってびっくりしていたようだ。新潟駅で自転車を組み立て、北に向かって走った。あやめの湯では、受付の人が、昨年兄の優仁が同じように立ち寄った時の事を覚えていて、いろいろと話をしてくれた。道の駅加治川では、駐車場すみの芝の上にテントを張る事ができた。疲れていたもので20時頃には寝てしまった。

3日目・8月12日(火) 晴れ 起床 4:30 出発 5:30

1日走行距離 101.4km ・トータル距離 241.1km

使ったお金 6,118円 (電車賃 1,110円)

(修理代 2,415円)

ルート

道の駅加治川→新潟駅付近(自転車修理)→新潟駅
→JR白新線→村上駅→R345→R7→立岩海底温泉

宿泊場所 到着 18:00

立岩海底温泉駐車場のそばの防波堤わき

日記

朝、自転車が倒れてしまいハンドルにつけていたバックミラーが割れてしまった。自宅に電話して、近くの自転車店を探してもらおうが、新潟にしか大きな店が無く、もどることになった。約42kmもどり父がネットで探したお店に行く。開店時間より1時間早かったが、お店の人が修理してくれた。修理後、昨夜野宿した場所の近くまで電車で移動することにした。



村上駅より、R345を走り、R7に入った。いよいよ海岸線を走る。左は海、右に山ときれいな景色が続いた。風が無く走りやすかった。夕方山形県に入った。宿泊予定地

の立岩海底温泉は海沿いの温泉だ。テントを張ろうと思った場所が、取られていて、張る場所がなかなか見つからなかった。お風呂に入ったら疲れがどっと出て、熟睡してしまった。



夕食



4日目・8月13日(水) 晴れ 起床 7:00 出発 7:30

1日走行距離 85.2km ・トータル距離 326.3km

使ったお金 2,949円

ルート

立岩海底温泉→県道50号→R112→酒田→R7→

道の駅鳥海→R7→道の駅象潟(入浴)

宿泊場所 到着 15:00

道の駅象潟裏の芝生の上

日記

朝、父からの電話で起こされた。疲れが出てしまい、目覚ましが鳴ったのに気がつかなかった。急いでテントを片付け洗面を済ませ出発した。今日は山形県を走りきる日だ。



右手に鳥海山がきれいに見える。午後2時秋田県に入る。すごくうれしかった。1時間走ったところが今夜の宿泊地だ。

道の駅象潟、少し早い到着だったので、ベンチで昼寝をした。目が覚めてお風呂



に入って夕食を買いに行ったら、大学生のグループに出会った。同じルートで青森に向かっていた。3人は茨城・千葉・石川の人で、旅の途中で出会って一緒に

走っているようだった。彼らは、明日の天気予報が雨なので、もう少し先の道の駅に泊まるようで、写真を撮った後別れた。彼らは、僕が一人で旅をしていると知って、かなり驚いていた。そして、がんばれよと励ましてくれた。道の駅の天気予報も明日雨だった。父がくれた連絡でも明日はかなり大雨になりそうだった。毎日よい天気が続き、走りやすかったのに、明日はカッパを着なければならないと思うといやだ。

道の駅象潟の裏の芝生の上でテントを張った。明日は早めに起きて雨が降り出す前に少しでも走っておこうと思う。

5 日目・8 月 14 日（木）雷雨のち晴れ

起床 4:00 出発 9:00

1 日走行距離 113.5km ・ トータル距離 439.8km

使ったお金 2,872 円

ルート

道の駅象潟→R7→本荘→秋田市内→大潟駅前→

大潟村役場→温泉保養センター（入浴）→道の駅大潟

宿泊場所 到着 15:30

道の駅大潟のひさしの下

日記

朝 4 時に起きた。日本海の遠くの海で雷が鳴っていた。空は赤く、雨が降り出しそうだった。父に電話をした。雷情報を見ながら父と相談した。すごい雷雲がまもなく近づいて来て、2 時間くらいすると雨も上がりそうだと言われた。このまま、出発しないで様子を見ることにした。

雨が降る前にテントをたたみ、道の駅のベンチに横になり少し寝た。8 時雨も小雨になってきたので、もう一度父に電話をした。父も心配していて、ネットで情報を集めていてくれた。予定より遅れているが、9 時頃には雨も上がりそうだと言われた。もう少し様子を見ることにした。



10時、まだ空は真っ暗な雲に覆われているが、雨がやんだので出発の準備をした。雨がやんでいるが、泥はねが嫌なのでカッパを着て、荷物は全部ビニール袋に入

れてから輪行袋に入れ荷台にしばった。今日は1番距離を走らなければならない日なのに落ち込んだ。海岸線を走るので景色もいいはずだし、何より秋田市内は思い出の場所なのに残念だ。

出発し本荘を過ぎたあたりから空が明るくなってきた。昼頃秋田市内に入る。路面はまだ乾いていないけれど、カッパを脱いだ。

午後2時大潟村への入り口八郎潟駅前に着く。駅前を左に曲がると空はすっかり晴れ、真っすぐな道が見えてきた。



8kmの直線を走る。

真っすぐだ。走っても走っても前が見えない。やっと曲がり角、しかしまた5kmの真っすぐな道があった。



父が言っていた大瀧富士があった。父は出発前に探して登ってきなさいと笑いながら言っていた。僕は自転車で走った上に山登りかよと、ちょっと不機嫌になった。

日本一低い山 標高0メートル ???

八郎瀧は干拓地と言う事を、その後訪ねた八郎瀧干拓記念碑を見て知った。教科書で習った事だったけれど、実際走ってみてその大きさ、そして干拓の苦勞を知ることができた。旅の計画のとき両親がわざわざ遠回りでも、八郎瀧をルートに入れるよう言った訳がわかった。



道の駅八郎潟で、青森から来た大学生と会った。
旅はまだ始まったばかりだそうだ。僕は今夜が最後、明日
はゴールの北秋田市に着く。最後の夜なんかうれしくて、
でもなんだかさびしい感じがした。もう少し走っていたい
気もするし、もう疲れて終わりにしたい気もする。
あと1日がんばろう。

6日目・8月15日（金）晴れ

起床 4:30 出発 5:00

1日走行距離 67.8km ・ トータル距離 507.6km

使ったお金 625円

ルート

道の駅大潟→県道42号→R7→道の駅二ツ井→県道3号
→合川駅前→合川南小前→まとび学園（ゴール）

ゴール 到着 9:30

日記

いよいよ今日は最後の日だ。
昨夜一緒になった大学生は
まだ隣で寝ているけれど、僕
はテントを、そっとたたんで

出発の準備をした。朝ごはんは昨日途中で会ったおばさん
からもらったパンだ。おばさんたちは鳥海山に登山に来た
けれど、雨なので引き返してきたそう。道の駅鳥海で会
って、また八郎潟で会った。いただいたパンとジュースで
簡単に朝食をすませた。



5時天気は快晴、気持ちいい。まだ寝ている大学生にあいさつだけして出発した。八郎瀉の中を北に進む、12kmの真っすぐな道、右にはずっと田んぼが続いている。菜の花ロードと名前がついていた。大きな橋が見えてきたやっとならぬ八郎瀉の北の端だ。R7号線にもどって走る。

7時 道の駅二ツ井到着あと17kmでゴールだ。コンビニで水を買って飲みながら少し休んだ。

7時30分 さあラストスパートだ。県道3号線に入ると、もう見慣れた景色だ。阿仁川の橋を渡った。左にみんなの通う合川中が見えてきた。残念ながら、野球のグラウンドにはお盆中だからなのか誰もいなかった。小さな山を二つ越え3つ目の山のふもとにお世話になった地区がある。最後の上り坂、なんか足が震えてきた。上りきって下りが始まったとたん、目の前には3年間暮らした地区が見えてきた。うおおおおーと声をあげたくなった。

とうとう来た！やっとならぬ着いた。疲れた。頭の中がぐるぐる回った。小学校のわきを抜け、急な上り坂を上がる。雪のときは上から滑り降りながら通学した道だ。桜並木をずっとあがる。山の中腹に建つ三角形の茶色い建物が見えてきた。「山村留学まるとび学園」 僕が3年間、親から離れて生活したところだ。今は夏休み、みんな帰省していて誰もいないけれど、僕はここをゴールと決めていた。

誰もいない玄関前に自転車を止め、ハンドルにつけたサイクルメーターを確認する。507.6km 家を出てからの走行距離だ。自分の力だけで走った距離だ。何回ペダルをふんだかわからない。何回汗を拭いたかわからない。やりとげたんだ。今はそういう気持ちでいっぱいだ。気持ちよかった。苦労はあったけれど、今は全部忘れて充実感でいっぱいだ。

山村留学先の両親が待っているふもとの地区に向かって走る。もうペダルをふまなくても坂道を下るだけ。

「ただいま！」 「おかえり！」

いつもとかわらないお父さんとお母さんの笑顔。

僕にはたくさんのお父さんとお母さんがいて、みんな僕を見守っていてくれる。

新吉お父さん・節子お母さん

欽一お父さん・ハナお母さん

芳一お父さん・喜代子お母さん

そして茨城のお父さん・お母さん

みんなうれしそうに、僕の到着を待っていてくれた。

ありがとう。

終わりに

この旅をやりとげて、自分の精神力が強くなった気がする。
何でもやればできるんだという気持ちができる。
この旅をずっと生かしてこれからがんばりたいと思う。

最後に、旅先で出会った人たち、いろいろ差し入れをしてくださった方々、親切に道を教えて下さった方々、応援してくれた方々、僕は皆さんがいたからゴールできたのだと思います。ありがとうございました。

そして、一人旅を許可してくれた両親、困ったとき電話をかけると、何時でもすぐにアドバイスをしてくれた両親離れていてもつながっている気がして心強かったです。

本当にありがとうございました。

平成 20 年 8 月

山野井 淳仁

食事リスト

1日目 8月10日

朝 おにぎり 3個

昼 冷やし中華・野菜サラダ・野菜ジュース

夜 うどん・煮込みカツどん・野菜サラダ
コーヒー牛乳

その他 ジュース類 2リットル

2日目 8月11日

朝 豚カルビ弁当・ツナコーンサラダ・牛乳

昼 そうめん

夜 カツどん・手巻きおにぎり・野菜サラダ

その他 ジュース類 1.5リットル

3日目 8月12日

朝 カルビ弁当・おにぎり・野菜ジュース

昼 おにぎり・野菜サラダ

夜 冷やしそば・飲むヨーグルト

その他 ジュース類 2.5リットル

4日目 8月13日

朝 冷やしそば・野菜ジュース

昼 菓子パン・飲むヨーグルト

夜 สปาゲッティ-・サラダ・飲むヨーグルト

その他 ジュース類 3.5リットル

5日目 8月14日

朝 海老天重・野菜サラダ・プリン

昼 おにぎり・焼きそば

夜 カツ丼定食味噌汁付（お店で食べた。）

その他 ジュース類 3.5リットル

6日目 8月15日

早朝 菓子パン・コーヒー

朝 カツサンド・おにぎり・飲むヨーグルト

その他 ジュース類 1リットル

※ ジュース類は水を含める。

※ 栄養バランスをとるため毎日、野菜類を必ず食べた。

御迷惑をおかけしました皆様へ

この度は当家愚息淳仁がご迷惑をおかけいたしまして、申し訳ございません。

夏休みを利用し8月10日から17日の予定で、茨城県より秋田県北秋田市までを、自転車にて一人旅を経験している途中ですので、親の目が届かず、皆様に大変ご迷惑をおかけしてしまったことと存じます。恐縮ですが下記まで御連絡下さいます様お願いいたします。

2008年8月8日

茨城県常総市水海道山田町 935

0297-22-2740

090-8818-6322

山野井 喜仁

今回の旅に寄せて

父 山野井 喜仁

今回の三男淳仁の自転車の旅は、傍から見たらなんと無謀な事だろうと御指摘を頂く事と思う。

しかし、私たち両親も取り巻く家族も、ただ思いつきで行かせた訳ではない。十分すぎるほどの計画と、生まれてきたときから彼らに与え続けてきた様々な試練をクリアしてきた子供達だからこそ「行ってらっしゃい」と笑顔で送り出す事が出来たのだと思う。

昨年はひとつ年上の次男が、同じく自転車で14歳の一人旅を6泊7日で行っている。来年の夏はオートバイで北海道1周野宿の旅の計画を立て始めている。

また、長男も通学する高校が、夏の甲子園に出場したため応援に行きたいと、ひたすら自転車をこぎ、国道1号線を走る7泊の一人旅を行った。

なにも強制したわけではない。

ただ家族が少し応援しただけである。

どこにいても困ったときは駆けつけてあげるよ。

そんな太い信頼関係が家族の中で出来ているからである。

背景には、彼らがそれぞれに小学生時代に経験した「山村留学」が大きく影響しているように思う。親元を離れ、ひとり見ず知らずの町で、見ず知らずのたくさんの方にお世話になり、人の温かさ、人とのつながり、我慢する大切さ、自立する心、やり遂げる喜び、など、たくさんのことを知らず知らずに身につけて帰ってきた。数年という短い期間だけれど、それぞれが「山村留学」の実体験で得た経験は、私たち両親が今まで生きてきた以上に苦労や喜怒哀楽が豊富だった事と思う。

「親を抜いてほしい。」そう思い続け子供達を叱咤してきたが、もう彼らには既に抜かれてしまっているかもしれない。いつまでも親を立ててくれる子供達、親を抜いてしまった事を気づかせないためにそう振舞ってくれているのかもしれない。親離れ子離れが少し早かったかもしれないが、もう少し親子を続けていくためにも気付かぬ振りをしながら、今度は自分に叱咤していつまでも頼られる親でありたいと思う。